

償却資産申告書の書き方 (例)

第二十六号様式 (提出用)

令和 6 年度
償却資産申告書 (償却資産課税台帳)

受付印 (宛先) 津島市長

法人番号又は個人番号
を入力してください。

※所有者コード
記入する必要はありません。

1 住所 (ふりがな) 住所と納税通知書送付先が異なる場合には納税通知書送付先を [] 書きで併記してください。 異動があった場合は、「18 備考」欄に変更前のもの及び異動年月日を記入してください。	〒460-0008 名古屋市中央区築○丁目○番○号 〒496-0044 つしましたてこみちよう 津島市立込町○丁目○番地 (株) △△商事 津島支店 (電話 0567-22-○○○○)	3 個人番号又は法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3	8 短縮耐用年数の承認 有・無	有・無
2 氏名 (ふりがな) 法人にあつてはその名称及び代表者の氏名	(株) △△商事 代表取締役 津島 一郎 (屋号)	4 事業種目 (資本等の金額)	組織物業 (2.5 百万円)	9 増加償却の届出 有・無	有・無
		5 事業開始年月	S. 54 年 5 月	10 非課税該当資産 有・無	有・無
		6 この申告に回答する者の係及び氏名	経理係 津島二郎 (電話 0567-22 -○○○○)	11 課税標準の特例 有・無	有・無
		7 税理士等の氏名	■ 会計事務所 津島三郎 (電話 0567-22 -□□□□)	12 特別償却又は圧縮記帳 有・無	有・無
				13 税務会計上の償却方法 定率法・定額法	定率法
				14 青色申告 有・無	有

資産の種類	取得価額				課税標準額 (ト)
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	(計(イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)	
1 構築物	1,500,000	0	0	1,500,000	
2 機械及び装置	3,600,000	100,000	2,300,000	5,800,000	
3 船					
4 航空機					
5 車両及び運搬具					
6 工具、器具及び備品	140,000	70,000	330,000	400,000	
7 合計	5,240,000	170,000	2,630,000	7,700,000	

資産の種類	評価額 (ホ)	※ 決定価格 (ヘ)	課税標準額 (ト)
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地

① 津島市神守町五反田○番地

②

③

16 借入資産 (有・無)

貸主の名称等 (株) □□リース 110567 (22局△△△△)

17 事業所用家屋の所有区分 自己所有・借家

18 備考 (添付書類等) 該当する項目に○をつけて下さい。

① 資産増減あり 2 増減なし 3 該当資産なし
4 廃業・解散・転出等 (年 月 日)

1. 住所
住所と納税通知書送付先が異なる場合には納税通知書送付先を [] 書きで併記してください。
異動があった場合は、「18 備考」欄に変更前のもの及び異動年月日を記入してください。

2. 氏名
令和4年度より申告書への押印は不要となりました。

(ロ)「前年中に減少したもの」令和5年1月2日から令和6年1月1日までの間に減少した資産の取得価額を記入してください。

(ハ)「前年中に取得したもの」令和5年1月2日から令和6年1月1日までの間に取得した資産の取得価額を記入してください。

該当する方を○で囲んでください。

1. 「1」の住所と資産所在地が異なる場合
2. 市内に2ヶ所以上、資産を所有する事業所等がある場合

資産所在地を記入してください。

リース資産などの有無について該当する方を○で囲んでください。
借入資産がある場合には、貸主の住所・名称・電話番号等を記入してください。

該当する方を○で囲んでください。

1. 資産の異動について該当する番号を○で囲んでください。
なお、「4」に該当する場合は年月日も記入してください。
2. 添付書類の名称・特記事項等を記入してください。

記入する必要はありません。
※電算処理により申告書を作成される場合は記入してください。